麻生学園小学校

校長室だより

NO．２３　発行：校長　R８．１０／１９(月)

お　知　ら　せ

○運動会の全体練習の中で

「校長室だより NO ２２（１０／１３）」において、「理想のモデルに自分を近づける」というタイトルで、私なりに感じたことを載せていました。その内容は、

“「運動会」に向けての様々な取り組みの中で、上級生のモデルとなる姿が、「自分もあのようになりたいなぁ」という下級生の憧れを生み、高まりあってほしい。”というものでした。



そうした中、先週の１６日（金）の５・６時間目に運動会の全体練習をしました。５時間目の練習が終わって休憩を取り、次の６時間目が始まる直前の時でした。早めに戻って来た６年生をはじめ**高学年の数名が「石を拾おう！」と、運動場の小石を拾い始めた**のです。みんなが座ったり膝をついたりした時に痛くないようにという気持ちからの行動でした。すると、どうでしょう、**その様子を見ていた下級生の子たちも次々に石を拾い始めた**のです。そして、６時間目が始まる前には、ほぼ、全員の子ども達が石拾いをしていたのです。

この姿は、まさしく**上級生がよいモデルとなって、下級生に「上級生の真似したいな」という、望ましい影響を与えていたものでした**。運動会を通して、先生の指示がなくてもよりよい姿で影響を与え､それを模倣して自分たちを高めることができた子ども達はとても素晴らしいと感じました。

感じたことから

○「おい主人公、目を覚ましているか？」

私たちは、人生の中で様々な役割を演じながら生きています。私自身、家の中では夫として、あるときは猫の飼い主として、時には娘夫妻の父として、孫のおじいさんとして、様々な立場の中での自分の役割を果たしています。また、学校では、校長としての役割があります。

役割とは「振り分けられた役」ということですが、私たちはその都度その都度、割り当てられた役割を果たしながら生きていると言えるでしょう。

時には、与えられた役割を負担と感じて自信を無くしたり、望んでいない役割に意欲を失ったりしてしまうことがあるかもしれません。

ただ、**自分の人生という舞台の主人公は自分自身であり、どんな役割であってもその役割を全うすることが、主人公として大事なこと**だと思います。

ある中国のお坊様の話ですが、毎朝自分に向かって「おい、主人公」と呼びかけ、「ハイ」と返事をしていたそうです。そして「主人公、目を覚ましているか？今日一日、主人公らしくどんな役割でも精一杯に頑張るぞ！」と呼びかけていたそうです。

さて、子どもたちは、学校生活の中で様々な役割をもって生活しています。特に運動会の時は、それぞれの役割や（表現や競技での）ポジションに違いがあります。**全体の中でよく目立ち、みんなの注目を集めがちな役割やポジションがある一方、大勢の中の一人として、あまり目立たない役割を与えられることもあるでしょう**。しかし、どちらにしても、自分に与えられた役割を精一杯に遂行することこそが大事な気がします。**その役割の違いに良し悪しや順位はありません。どれも運動会をよりよいものにするためには欠かせないもの**です。主人公らしく精一杯に与えられた役割を全うしてほしいと思います。保護者の皆様も、**運動会当日には、全体の中で目立つ場合、目立ちにくい場合があるかもしれませんが、どちらにせよ、それぞれが主人公として役割を果たし頑張っている姿をしっかり見て、称えていただければ**と思います。

